

しのぶ草



(隔月発行)

発行：宮崎市教育委員会文化財課

宮崎市きよたけ歴史館

所在地：宮崎市清武町加納甲3378-1

TEL 0985-84-0234 FAX 0985-84-2634

<生涯学び続けた息軒先生>

暑かった夏、そして天候が不順だった夏が終わり、旧宅の庭園の至るところに、赤や白の彼岸花が顔を出しています。

この夏も、本館にはたくさんの来客がありました。一番下の年齢層は子育て支援や幼稚園等の乳児・園児たちから、小学生、中学生。それに「川口市小学生文化交流事業」の子どもたち。そして本館の特徴は、宮崎学園短期大学や宮崎国際大学、宮崎大学等の近隣の大学生の利用も多いことです。更には成人や高齢者、学識者、外国の方々…。今年もウエキガン市の市長さんご一行、さらに宮崎大学サマープログラムのたくさんの留学生たち…。実に多彩です。

次代を担う子どもたちに、学ぶ姿勢を求めらるるのであれば、まず大人がその姿を…。そうした意味で夏の来館で特徴的だったのは、加納小学校の先生方による職員研修です。



職員研修(加納小学校)

夏の暑い中ではありましたが、息軒先生の偉業等について学ぼうと、全職員で来館され、熱心に研修されました。



人間力向上研修(宮崎銀行)

今一つ素晴らしいと思ったのは、宮崎銀行の行員さんたちによる「人間力向上研修」です。取組みはまだ緒に就いたばかりとのことですが、休業日等を利用して行員として、社会人としての人間力を高めようと企画されました。そしてその第一弾として8月2日、30名以上の行員の皆様が来館され、息軒先生の生き方を中心に熱心に研修されました。

息軒先生は、幕末から明治初頭の日本を代表する儒学者ですが、学者として大成の秘訣は、何と言っても飽くなき向学心と探究心。私たちも変化の激しい現代を主体的に生き抜くために、今こそ息軒先生のように、弛むことなく学び続けていく姿勢が大切だと思います。現代は学び続けることが要求される生涯学習(Lifelong learning)の時代なのです。(文責：川口)

<古墳時代の清武>

前方後円墳に代表される盛土を持つ、権力者のお墓を「古墳」といい、それが築かれた時代を「古墳時代」(3世紀後半から7世紀)といいます。旧清武町域に古墳はなく、現在清武川流域で確認される古墳群は、熊野にある木花古墳群だけです。では清武町にもともと古墳がなかったのかというと、そうではありません。1957年発行の『宮崎県縄文弥生考古遺物地名録』や、1977年に発行された文化庁版の『全国遺跡地図』によると、清武村古墳として町内には前方後円墳1基、円墳6基があったと記録されています。相次ぐ開発行為によって壊されてしまったためなのか、残念ながら実態は不明のままとなってしまっています。前述の木花古墳群も発掘調査が行われていないため、清武川流域の古墳についてはほとんどわからない状況でした。平成20年度に行われた五反畑遺跡の発掘調査で、古墳時代中期の木棺墓3基・石棺墓1基・土壇墓1基・地下式横穴墓1基が発見され、清武川流域の古墳を研究するための手掛かりを得ることができました。

五反畑遺跡の1号木棺墓からは、首飾りとして使用していたとされるたくさんのガラス製・滑石製の玉類や青銅鏡、鉄製の武器・工具などの多くの副葬品が出土しました。(一部は本館に展示しています。)他のお墓からは1~2種類の鉄製の武器・工具しか副葬されていないため、多くの副葬品を持つ1号木棺墓に埋葬された人は、五反畑遺跡の中で最も権力を持っていた人物であったと考えられます。五反畑遺跡の周辺には、古代官道が通っていた可能性があり、このあたりは田野盆地から清武川を越えて宮崎平野部へ至る際の交通の要所であったことが想定されます。1号木棺墓に埋葬された人は、このような地理的な条件を利用して勢力を伸ばした人物だったと考えられます。



五反畑遺跡1号木棺出土玉類(一番外側が滑石製内側はガラス製)

(文責：秋成)

講座等のご案内

◆きよたけ歴史講座⑥ 講師：諸岩則俊氏
日時：11月29日(土) 10時~11時30分

◇歩こや清武
日時：11月15日(土) 9時~12時

◆きよたけ歴史講座⑦ 講師：文化財課 井田篤主査
日時：12月13日(土) 10時~11時30分

内容：清武町内の史跡を歩いて巡ります。(約5km)
対象：小学生~一般(小学生は保護者同伴)

🌸 お気軽にご参加ください 🌸

締切：10月31日(金) 電話又はFAXでお申込下さい。